

入学志願者調査書（高等部本科用）【聴様式第4号の1】の記入要領

※過年度の卒業生は【聴様式第4号の2】を用いること。記入にあたっては以下の記入方法によらず、志望校に確認のうえ作成すること。

項 目	記 入 方 法
一般的注意 事項	1. ※印欄は、中学校等では記入しない。 2. 併記してある事項は、該当事項を○で囲む。 3. 記載に当たっては、明確な文字・数字を用いる。ゴム印やパソコン等によって記入してもよい。パソコンによって記入する場合、島根県特別支援教育課ホームページからダウンロードしたファイルを用い、A4版両面印刷で作成すること。 4. 記載事項がない場合や記載できない場合は、空欄としないで斜線、又はなしと記入すること。
高等学校との 併願状況	【第4号の1】 高等学校との併願がある場合は「有」に○をし、学校名を記入する。併願が無い場合は、「無」に○をする。
学習の記録	○【第4号の1】 I 準ずる教育課程：中学校の教育課程及び中学校の教育課程に準じて評定ができる生徒の場合 1. 各教科の評定は、各学年とも5段階とする。 第1学年と第2学年については、生徒指導要録に記載した評定を転記し、第3学年については、第1学期と第2学期の成績を総合して評定したもの（2期制の場合は前期の評定）を記入する。 2. 各教科の観点別評価は、観点ごとに、第3学年の第1学期と第2学期を総合して評価したもの（2期制の場合は前期の評定）を記入する。その際、「十分満足できると判断されるもの」をA、「おおむね満足できると判断されるもの」をB、「努力を要すると判断されるもの」をCとする。 3. 特記事項は、各教科の学習状況等について特記すべき事項がある場合や、下学年対応の学習をしている場合の内容を、文章で簡潔に記入する。 II 知的代替教育課程：知的障がいの教育課程で学習している生徒の場合 1. 所見は、各教科の学習状況や到達状況等について、第3学年の内容を中心に文章で簡潔に記入する。 ○【第4号の2】 1. 特記事項は、各教科の学習状況等について特記すべき事項がある場合や、下学年対応の学習をしている場合の内容を、文章で簡潔に記入する。

聴覚に関する状況	聞こえや発音・発声の状況、言語力やコミュニケーションの状況等について、できるだけ具体的に記入する。なお、聴力を示す資料を添付すること。
その他の障がいの状況	聴覚以外の障がいの状況について、できるだけ具体的に記入する。
項目	記入方法
自立活動の記録	第3学年での自立活動について、学習状況と所見を文章で記入する。
総合的な学習の時間の記録	第3学年について、学習活動及び各学校が定めた評価の観点を記入した上で、生徒の学習状況の顕著な事項についてその特徴を記入し、生徒にどのような力が身についたかを文章で記入する。
特別活動の記録	第3学年での特別活動について、主な活動状況と所見を文章で記入する。
行動の記録	第3学年での学校生活全体にわたって認められる生徒の行動について、比較的優れている点などを文章で記入する。
指導上参考となる諸事項	顕著な活動について取り上げ、具体的事実を箇条書きで記入する。
欠席の記録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席日数は必ず記入する。第3学年（卒業見込み者）については、第2学期末までの集計を記入する。 2. 年間10日以上欠席日数がある場合は、欠席の理由を具体的に記入する。 3. 備考欄には、出席停止・忌引等の日数に関する特記事項、遅刻・早退等の状況、その他の出欠に関する特記事項等を記入する。